

2016-2017 ボブスレー競技 国際競技会派遣選手選考基準

公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟

【選考手続】

2016 年－2017 年ボブスレー競技国際競技会への派遣選手は、以下に定める選考基準（以下「本選考基準」という。）に基づき公益社団法人日本ボブスレー・リュージュ・スケルトン連盟（以下「日本連盟」という。）競技委員会が選考し（以下「本選考」という。）、資格選考委員会の確認及び理事会の承認を経て決定されるものとする。

【派遣対象競技会】

2016 年－2017 年ボブスレー競技国際競技会とは、国際ボブスレー・スケルトン連盟（以下「国際連盟」という。）の開催する 2016 年－2017 年シーズン（以下「今シーズン」という。）の IBSF World Cup（以下「WC」という。）、Europe Cup（以下「EC」という。）のうち、以下の競技会とする。

- ① WC 第 3 戦から第 8 戦まで
- ② EC 第 3 戦から第 8 戦まで

※ 今シーズンにおける日本の出場枠数は次のとおりである。

WC（男子 0、女子 2）、EC（男子 4、女子 4）

【基本方針】

1. 日本代表として十分な活躍が期待でき、日本連盟が「2018 年平昌五輪に向けたボブスレー競技選手選考計画」において掲げる平昌五輪での目標を達成できる可能性を有する選手又は北京五輪で活躍が期待される次世代を担う有望な選手を選考することとし、具体的には派遣対象競技会ごとに以下の方針に従って選考する。
 - ① WC 平昌五輪での目標（男子 8 位以内、女子 8 位以内）を達成する可能性を有する選手及び可能性の有無の見極めが必要な選手
 - ② EC WC に派遣される選手に準ずる能力を有する有望な選手
2. 男子チームは、昨シーズンの結果（IBSF 国際ランキング 82 位、85 位）を受け、平昌五輪で日本連盟の掲げる目標達成の可能性は極めて低いことから、後述のように国際競技会において上位入賞するために必要な基準を設定し、基準に達する選手が複数出た場合にのみ国際競技会への派遣を検討する。
3. 「日本連盟登録競技者・スタッフ行動規範」を遵守し、日本連盟を代表するに相応しい選手を選考する。

【評価対象記録会】

本選考における評価対象記録会は次のとおりとする。

- ① 平成 28 年度国際競技会派遣選手選考プッシュ記録会（平成 28 年 9 月 8－11 日開催予定。以下「プッシュ記録会」という。）
- ② 第一次発掘トライアル（平成 28 年 7 月 28 - 29 日開催。※女子のみ）
- ③ 発掘選手コンバインテスト（平成 28 年 8 月 8 日開催。）
- ④ 発掘トライアル（平成 28 年 9 月 4 日まで適宜開催予定。※女子のみ）

【選考基準】

1. WC 女子派遣選考基準

(1) パイロット：2名

昨シーズンの国際競技会にパイロットとして派遣された選手を派遣する。

(2) ブレーカ：3名

a. 派遣対象選手

以下のいずれかの選手を派遣対象選手とする。

- ① 昨シーズンの国際競技会にブレーカとして派遣された選手
- ② 第一次発掘トライアル、発掘選手コンバインテスト又は発掘トライアルにおいて、別紙1「発掘選手選考基準」を満たした選手

b. 選出順位

- I. ①の選手のうち、プッシュ記録会で計測される「1人押し」のベストタイム（以下「ベストタイム」という。）の最も早い選手1名を選出する。
- II. 派遣対象選手のうち、Iで選出されなかった選手の中から、ベストタイムの速い選手から順に2名選出する。

2. EC 女子派遣選考基準（EC 第3戦から第6戦まで）

(1) パイロット：3名

昨シーズンの国際競技会に派遣された選手のうち、日本連盟が主催する競技会においてパイロットとして出場した経験のある選手を派遣する。

(2) ブレーカ：4名

a. 派遣対象選手

WCの派遣対象選手と同様とする。

b. 選出順位

WCにブレーカとして選出された選手3名に加えて、その次にベストタイムの速い選手1名を選出する。

3. EC 女子派遣選考基準（EC 第7戦及び第8戦）

(1) パイロット：1名

EC 第3戦から第6戦までにパイロットとして選出された選手のうち、WCに選出されていない選手を派遣する。

(2) ブレーカ：2名

EC 第3戦から第6戦までにブレーカとして選出された選手のうち、WCに選出されていない選手1名と、その次にベストタイムの速い選手1名を選出する。

4. 国際競技会男子派遣選考基準

次の(1)に定める派遣検討対象選手のうち、(2)に定める選出条件を満たした選手が複数名いた場合には、国際競技会への派遣を検討する。

※ 国際競技会への派遣の検討は、プッシュ記録会の後に行う。

(1) 派遣検討対象選手

以下のいずれかの選手を派遣対象選手とする。

- ① 強化指定選手として登録されている選手
- ② 発掘選手コンバインテストにおいて、別紙1「発掘選手選考基準」を満たした選手

(2) 選出条件

プッシュ記録会の「1人押し」において、で3.56秒（標準プッシュタイム）以下の記録を計測すること。

【派遣に関する制限】

本選考基準に則り選出された選手であっても、以下の場合には、国際競技会への派遣が制限され又は取り消される。

1. 国際連盟による各派遣対象競技会の出場資格を満たさない場合
2. 病気又は怪我により競技に著しく支障があると認められる場合

【前期国際競技会派遣に関する費用負担】

派遣選手の費用負担については、別紙2に従う。

以上

別紙 1

発掘選手選考基準

第一次発掘トライアル、発掘選手コンバインテスト又は発掘トライアルで開催される「45m 走」又は「立ち幅跳び」において、以下のいずれかの記録を計測すること。

・45m走

- ①スタートから 15m 地点までのタイムが 2.33 秒以下（女子）／2.18 秒以下（男子）
- ②スタートから 30m 地点までのタイムが 4.11 秒以下（女子）／3.79 秒以下（男子）
- ③スタートから 45m 地点までのタイムが 5.92 秒以下（女子）／5.42 秒以下（男子）
- ④15m 地点から 45m 地点までのタイムが 3.66 秒以下（女子）／3.16 秒以下（男子）

・立ち幅跳び

- 2.62m 以上（女子）／2.97m 以上（男子）

以上

国際競技会派遣に伴う費用の負担について

国際競技会派遣に伴う費用負担については、以下のとおりとする。

① WC に派遣された選手

今シーズンにおける国際競技会（WC 及び EC）の派遣に要した費用（派遣対象競技会エントリー費、渡航費を含む交通費（レンタカー費を含む。）、宿泊費、保険料、滑走練習費、トレーニングジム使用費、遠征中の栄養費（食費）及び雑費をいう。以下同じ。）のうち 45 万円を超える部分は連盟の負担とする。

ただし、第一次発掘トライアル、発掘選手コンバインテスト又は発掘トライアルにより派遣対象選手となった選手（以下「発掘選手」という。）の費用負担については、今後さらに検討する。

② EC にのみ派遣された選手

今シーズンにおける国際競技会（WC 及び EC）派遣に要した費用の全額を選手の自己負担とする。

ただし、発掘選手の費用負担については、今後さらに検討する。

以上